

# おいしいね うれしいね たのしいね プロジェクト「ジャガイモ収穫体験と収穫祭」 美味しい！楽しい！が育む心

7月9日、NPO法人フリースペース「たまりば」(高津区、西野博之理事長)に通う子どもたちが、麻生区黒川でジャガイモ掘り体験・収穫祭を行った。

参加した女の子は、「引っ張ったら茎がプチプチと切れて、ジャガイモは土の中に残っちゃった。手で土を掘って見つけ出したよ。サツマイモ掘りとは違った」とニコリ。

収穫後は、市黒川青少年野外活動センターに場所を移し、掘ったばかりのジャガイモ、野菜、豚肉でバーベキューなどを楽しんだ。新鮮な地産野菜や神奈川県ブランド豚肉のやまゆりポークなどは、大型農産物直売所「セレサモス」が全て提供。



西野理事長は、「さまざま体験をしたり、共感しあえる他者の存在を感じる事が子どもたちを育みます。今までにも、無人島で磯遊び、スキー、美術館

など、子どもたちと行ったことがあります」と話す。また、JAセレサ川崎では、「職員が5月末に定植し、子どもたちのために野菜を育ててきました。新鮮で安心・安全な地元農産物を通じて、美味しい、うれしい、楽しいを子どもたちに体験してもらい、農業や地元農家への理解を深めていただけるとうれしい」と話す。

市子ども夢パーク内にある同フリースペースは、さまざまな事情で学校に通えない子どもたちや定時制高校に通う生徒たちが集う。学校に自分の居場所を見つげにくい子どもたちの「安心できる居場所」作りのため、約20年活動を続けている。



ジャガイモ掘り体験は、JA、地域のNPO、大学との連携を県が支援し、さまざまな地域課題に取り組む「連携促進モデル事業」の一つとして実現した。